TAKEGAWA

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

１０インチチューブレスアルミホイールキット　取扱説明書

（フロント／リヤディスク用）

商品番号：０６－０９－０１１
適応車種：モンキー／ゴリラ
車体番号：Z50J-1300017～／ AB27-1000001～
条　　件：当社フロントフォークキット、１２ｃｍ又は、１６ｃｍロングスイングアーム、ディスクブレーキハブ又はノーマルハブ取り付け車

この度はＴａｋｅｇａｗａの製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
ご使用になられる前に必ずこの説明書をお読み戴き、内容を把握下さいます様お願い致します。

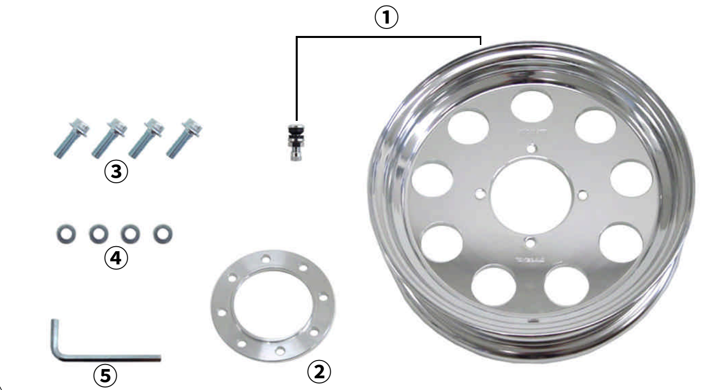
☆正しく安全に御使用頂くために☆

o タイヤ組み込み時は、必ず２輪車用タイヤレバーを使用して下さい。
o リム部に傷を付けないよう、必ずリムプロテクタを使用して下さい。
o 必ずタイヤビード部に植物性石鹸水を塗布し、組み付けて下さい。ビード部には、グリースや潤滑剤は一切使用しないで下さい。
o ホイールサイズは２.５０×１０です。適応タイヤサイズは３.００×１０、３.５０×１０です。
o タイヤ組み込み時にタイヤチェンジャーは使用しないで下さい。必要以上の力が加わると変形しますのでご注意下さい。
o ホイールに大きな変形、歪み、ひび割れのある物は、空気漏れの原因になるので必ず交換して下さい。
o ホイールリム部のビード当り面の傷が深さ０.５mm以上、幅１mm以上ある場合は必ず交換して下さい。
o ホイールの向きは、フロントはドラムブレーキ、ディスクブレーキ車共、エアバルブをスピードメーターギヤボックス側に、リヤはスプロケット側に向け取り付けて下さい。
o 指定空気圧
　フロント１.２５kgf/c㎡（１.２５KPa）
　リヤ　　１.７５kgf/c㎡（１.７５KPa）

⚠警告　下記内容を無視した取り扱いをすると人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

・取り付け作業は、必ずエンジン冷間時（３５℃以下）に行なって下さい。エンジンやマフラーが冷えていない状態で行なった場合、火傷の原因となります。
・作業を行なう際は、安全に十分注意し、作業に適した工具を用い、手袋で手を保護した状態で行って下さい。
・各ボルト、ナットは、必ずトルクレンチを使用し、指定トルクで締め付けて下さい。
・変形したホイールは、絶対に使用しないで下さい。重大な事故の原因となります。
・走行前には、必ず各部の取り付け状態や空気圧を点検して下さい。又、走行中異常が発生したと思われる場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所の点検を行って下さい。

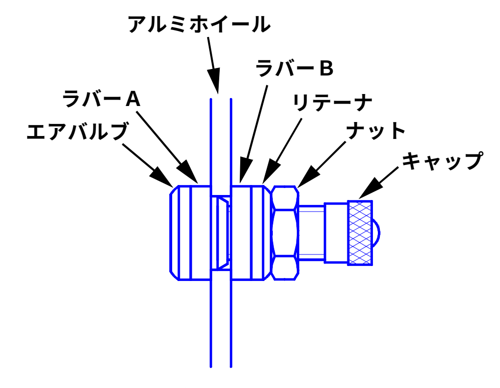
◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめ御了承下さい。
◎クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて戴きます。但し、修理又は、交換等にかかる一切の費用は対象となりません。正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。
◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。



番号	商　品　内　容	数量
1	ホイール　COMP.	1
2	ホイールスペーサー	1
3	フランジキャップスクリュー　８×２５	4
4	プレーンワッシャ　８mm	4
5	６角棒レンチ　６mm	1

Dec ‘00

エアバルブの取り付け



チューブレスタイヤの組み込み

１．ホイールにエアバルブを取り付け、エアバルブからバルブコアを取り外します。取り付けるタイヤを点検し、ビード部に植物性石鹸水を塗布します。サイドウォールに軽点マーク（ペイントマーク）がある場合、エアバルブ位置に合わせます。
※タイヤ回転方向マーク（→）がある場合、ホイールの向きを合わせて下さい。

２．タイヤを立てて支えエアバルブと反対側より、片側だけを手作業で組めるところまでリムにタイヤを組み込みます。

３．ホイールを横にして、リムプロテクタをリムに取り付け、２本のタイヤレバーで残りの部分を少しずつ組み込みます。最後の部分は、タイヤレバーを２本同時に起こして、組み込みます。
※ビードが完全にリムセンターに落ちている事を確認して下さい。

４．ホイールを反転させ、ビードを膝で抑えながら1/２程度組み付けたら、２本のタイヤレバーを３０～４０mmの間隔で順番に差し込んで起こす作業を繰り返します。
※起こしたタイヤレバーを引き抜くときには、次のレバーが起きている事を確認して下さい。

５．３／４程度入った所でビードがリムセンターに落ちているかを確認します。
※ビードがリムセンターに落ちていないと最後のビード組み込みが困難になり、リムやビードを損傷させる場合があるので注意して下さい。残り部分が５０～６０mmになったら２本のタイヤレバーを同時に起こして完全にビードを組み込みます。バルブコアを取り付けます。

６．再度、植物性石鹸水をビード部全周に塗布し、ラバーハンマーでトレッド面を叩いてタイヤとリムをなじませます。
※タイヤセンターとホイールセンターが一致している事を確認して下さい。

７．指定空気圧の１.５倍の空気を入れます。
※空気を入れてもリムとビードの間から漏れる場合は、ホイールを立てて、バルブを下側にし、タイヤを押さえ付けながら空気を入れて下さい。

８．ホイールリムとタイヤのリムラインが同心円状になっているかを確認します。空気を指定空気圧に調整します。
※エアバルブ、リム部からの空気漏れを点検して下さい。

ホイールの取り付け

（車体番号　Ｚ５０Ｊ－１３０００１７～１９９９９９９の場合）
o ハブにスペーサーを入れ、ホイールを取り付けます。付属のプレーンワッシャとキャップスクリューを使用し、対角線上に締め付けます。
トルク＝３.０kgf･m（２９N･m）
※ホイールの向きに注意して下さい。

（車体番号　Ｚ５０Ｊ－２００００01～／ＡＢ２７－１０００００１～の場合）
<ディスクブレーキ車>
o ハブにスペーサーを入れ、ホイールを取り付けます。付属のプレーンワッシャとキャップスクリューを使用し、対角線上に締め付けます。
トルク＝３.０kgf･m（２９N･m）
※ホイールの向きに注意して下さい。

<ドラムブレーキ車>
o ノーマルハブよりスタッドボルト４本を抜き取ります。
※スタッドボルトは、Wナット等で取り外して下さい。
※ネジ部分にカエリ等がある場合はヤスリ等で修正して下さい。
o ハブにスペーサーを入れ、ホイールを取り付けます。付属のプレーンワッシャとキャップスクリューを使用し、対角線上に締め付けます。
トルク＝３.０kgf･m（２９N･m）
※ホイールの向きに注意して下さい。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA
〒５８４－0069
大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
TEL ０７２１－２５－１３５７
FAX ０７２１－２４－５０５９
URL http://www.takegawa.co.jp

Dec ‘ 00